



新型コロナウイルス感染拡大防止の為、様々な活動に制限が出ています。これにより、現場は不安や悩みを抱えますが、同時に新たな創意工夫が生まれています。「つながる通信」では、そうしたコロナに負けない地域の繋がりやパワーを発信し、各地でお役立ていただく一助となれればと願っております。

取材先

九合地区「くあいこやしばの会」 

「くあいこやしばの会」は平成25年から九合小学校の「生ごみ堆肥化コーナー」にて、毎週木曜日、午後1時30分から1%まちづくり事業として生ごみを堆肥化する活動を行っています。九合小北西側の「生ごみ堆肥化コーナー」にはコンポスターが20個以上も設置しており、九合小、中央小、旭小の3校から回収した給食残渣を活用し、落ち葉やEMぼかしなどを混ぜ合わせ堆肥化しています。 *EMとは乳酸菌、酵母、光合成細菌などの善玉菌の集まりのこと



給食残渣を一輪車で運ぶ。残渣の重さを量り、コンポスターに入れる。落ち葉を集めるなど… 皆さん、それぞれ手際よく作業していました。

代表の樋口さんは良い堆肥を作ること「これならやってみたい!」と思ってもらえるように、また、「若い世代がこやしばの会に興味を持って参加してくれれば嬉しい」と新しいお仲間を心待ちにしています。

裏面へ続きます 

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～



九合小の中庭にある畑に生ごみ堆肥を施し、土づくりから収穫まで行っています。



九合小2年生と一緒にお芋ほり



R3.11.4取材



九合小校長先生

素晴らしい活動！

学校は地域の方に支援して頂いて成り立っています。子供にとって地域の方、人との関わりが大事です。地域の方と子供たちが関わるのが大切だと思っています。これからも継続して頂きたいと思っています。



こやしばくん



代表 樋口浩子さん

「生ごみを堆肥化する「こやしばの会」のような活動が市内の小学校などに広まって欲しいです。できるだけ生ごみを燃やすのを減らす活動をして欲しいと思います。生ごみを燃やすのは勿体ないから」と話してくれました。

令和4年度で節目の10年を迎える「くあいこやしばの会」地域の小学校に貢献したい。卒業した子供たちが大人になったとき感じる「何か」を残せるように。とにかく健康第一です。体に気を付けて活動していきましょう！と会員の皆さんに伝えていました。



会員の皆さんにお聞きました！

- * 「こやしばの会」は私の支えでもあり、みんなに会える楽しい場所。
- * 会の皆さんは、良い人ばかりで嬉しい。
- * 皆さんが楽しそうで、人生の先輩と楽しく過ごせて幸せ！



生ごみ循環事業

給食残渣を回収したビニール袋は洗浄、乾燥させたあと、可愛いパッケージとともに再利用されます。完成した堆肥を入れ、中央小、旭小、九合小へ。

チェックポイント

- ✓ 集まることが「楽しみ」になり「生きがい」を感じる活動になっています。
- ✓ 次世代につながる、つなげるSDGs

お宝情報を募集中！「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は右記お問い合わせまで！



詳しくはこちら

お問い合わせ
太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549
TEL 0276-30-0033 FAX 0276-30-0032